

【調査研究担当者】

教育相談室	室長	杉元羊一
教育相談室	研究主任	田上桃江
教育相談室	研究主事	迫田孝志

【研究協力員】

鹿児島市立宮川小学校	教諭	友生雅夫
加治木町立加治木中学校	教諭	前田洋介
中種子町立野間中学校	養護教諭	佐多祐子
鹿児島県立鹿児島西高等学校	養護教諭	糸 知子

おわりに

当センターでは、これまでの不登校児童生徒に関する教育相談事例や不登校に関する調査研究の成果を踏まえ、平成14年度から「不登校児童生徒への指導・援助の在り方に関する研究 - 保健室等登校児童生徒への対応を通して - 」についての調査研究を進めてきた。

1年次は、県下の小、中、高、盲・聾・養護学校を対象に、不登校の前兆段階及び再登校段階と思われる保健室等登校児童生徒に対する対応の在り方について現状と課題を調査し、その保健室等登校児童生徒及び不登校児童生徒に対するより効果的な対応の在り方について整理した。また、教育相談事例を通して、『指導資料』「再登校の兆しが見え始めた児童生徒への支援の在り方」を刊行し、再登校段階の児童生徒に対する学校・家庭及び相談機関との連携の在り方や校内の支援体制の在り方について、具体的に提示した。

2年次は、保健室等登校児童生徒への対応の在り方の研究を深めるとともに、当センターの保健室等登校児童生徒の教育相談事例を基に、不登校児童生徒への対応の在り方を明らかにし、これからの取組についてもまとめた。また、Q & Aでは保健室等登校に関する対応について具体的な質問を設定して、学校現場のニーズにもこたえるように工夫した。

本研究は、まだ十分なものとは言えないが、今後、各学校においてこの研究内容を活用し、不登校の改善の一助になれば幸いである。

最後に、本研究を進めるに当たって、実態調査に御協力いただいた各学校及び教育相談事例を提供していただいた調査研究協力員の先生方、アンケートの集約等に御協力いただいた鹿児島大学教育学部心理学教室に、厚くお礼を申し上げたい。

研究紀要 第106号
不登校児童生徒への指導・援助の在り方に関する研究
- 保健室等登校児童生徒への対応を通して -
平成16年3月19日発行

発行者 鹿児島県総合教育センター
〒891-1393
鹿児島県鹿児島郡吉田町宮之浦862番地
電話 099-294-2311
FAX 099-294-2309
URL <http://www.edu.pref.kagoshima.jp>